

# 『英語コーパス研究』投稿規定

(2019年10月改定)

## 1. 投稿資格

投稿は会員に限る。共著の場合、第一著者は会員であることとし、その他の共著者については会員でなくてもよい。

## 2. 原稿の種類と長さ

### 【研究論文】

英文 A4 サイズ 1 ページあたり 35 行（文字数の指定はしない），周囲の余白 1 インチ（25.4mm），17 ページ以内

（Times New Roman 10.5 ポイント使用）

和文 A4 サイズ 1 ページあたり 35 行（文字数の指定はしない），投稿時 17 枚以内  
（明朝体フォント（游明朝・ヒラギノ明朝など）10.5 ポイント使用）

※和文中の英文のフォントについては Times New Roman を原則とする。Century は用いてはならない。

（いずれも Abstract（英文 300 語以内），図表，注，参考文献目録，付録，謝辞，著者情報などを含む。）

### 【研究ノート，総説論文・書評論文（Review article, Book review）】

- ・研究ノート：論文のカテゴリーに属さない小論文や萌芽的な研究，新しい研究開発の成果などをまとめたもの
- ・総説論文：体系的かつ網羅的に先行研究をまとめたもの
- ・書評論文：専門書の研究分野への貢献と課題点を明確にしたもの

英文 A4 サイズ 1 ページあたり 35 行（文字数の指定はしない），周囲の余白 1 インチ（25.4mm），12 ページ以内

（Times New Roman 10.5 ポイント使用）

和文 A4 サイズ 1 ページあたり 35 行，投稿時 12 枚以内

（明朝体フォント（游明朝・ヒラギノ明朝など）10.5 ポイント使用）

※和文中の英文のフォントについては Times New Roman を原則とする。Century は用いてはならない。

（いずれも Abstract（英文 300 語以内），図表，注，参考文献目録，付録，謝辞，著

者情報などを含む。)

【その他（ソフトウェアレビュー，書評（図書紹介），コーパス紹介など）】

研究論文の半分以内の分量

### 3. 原稿作成時の注意

下記のように投稿者を特定できるような情報，その他，本人の同定につながると考えられる情報は，採用決定後の最終原稿に追記するものとし，投稿時には記載しないこと。

- (1) 謝辞など
- (2) 「本論は，英語コーパス学会第X回大会において口頭発表した内容に加筆修正を施したものである。」などの文言
- (3) 「筆者が収集し，WWW (<http://...>) で公開しているデータ…」など，筆者情報につながる URL 情報など
- (4) 「拙論（2006）で論じたように…」などと記して，参考文献目録で当該文献を参照している場合，「拙論」ではなく著者(2006)として表記すること。

### 4. 提出方法など

- (1) 下記の(A)原稿ファイル（Microsoft Word で作成したファイルとその PDF ファイル），(B)著者情報ファイル，(C)論文投稿チェックシートの3種類のファイルを電子メール添付で提出。(B)，(C)については Web 掲載のフォーマットを使用のこと。
- (2) 電子メールの件名（Subject）は「『英語コーパス研究』投稿原稿（著者氏名）」とすること。
- (3) 提出先，締め切り期日等に関しては学会 Web サイトを参照のこと。

#### (A) 原稿ファイル

- a. 提出するファイル名は「原稿題名（著者氏名）」とすること。
- b. 原稿題名の前に「論文」，「研究ノート」，「総説論文」，「書評論文」，「コーパス紹介」などの種類を明記すること。
- c. 原稿本体の冒頭には上記種類の別と題名のみを記すこと。

#### (B) 著者情報ファイル：「著者情報（著者氏名）」

- a. 和文原稿の場合は英文タイトル，英文原稿には和文タイトル
- b. 著者氏名（ふりがな・ローマ字表記）
- c. 所属
- d. 郵便番号・住所・電話番号
- e. 電子メールアドレス

#### (C) 論文投稿チェックシート：「論文投稿チェックシート（著者氏名）」

Web掲載のチェックシートの必要項目すべてに☑を入れること。

#### 5. スタイル

投稿論文は、研究論文、研究ノート、総説論文・書評論文の別、また、和文・英文の別にかかわらず、『英語コーパス研究』スタイルシートに従い執筆することとする。

#### 6. 掲載論文等の電子化

掲載された論文等の著者は、論文等を電子化して学会ホームページで公開することに同意する。

#### 7. 著作権

掲載された論文等の著作権は、本学会に帰属する。本学会は掲載論文等を印刷媒体・電子媒体で公開する権利を有するものとする。ただし、著者が自著論文等を自分のホームページに掲載したり、自著の本に転載したりすることは妨げない。

#### 8. 研究倫理

投稿にあたっては、下記文書などを参照し、不正行為のないようにすること。

独立行政法人科学技術振興機構『研究者のみなさまへ～研究活動における不正行為の防止について～』<https://www.jst.go.jp/contract/kisoken/h25/others/h25s805others131120.pdf>